

主な出来事

【内政】

- 8月31日、ルアンダ州の封鎖が9月1日0時から解除(国境封鎖は維持)。
- アンゴラは各国の支援や国際枠組みを通じ、ジョンソン・エンド・ジョンソン製ワクチン、アストラゼネカ製ワクチン、ファイザー製ワクチンを受領。今後スプートニクVワクチンも受領する見込み。
- 8月17日、アルメイダ大統領府文官長は、クアンド・クバンゴ州、モシコ州、ルンダ・ノルテ州、マランジェ州、ウイジェ州を対象とする新たな行政区画再編を実施する旨確約。

【外交】

- 8月5日、丸橋日本国大使はクアンザ・スル州スンベ市を訪問し、草の根・地雷除去事業現場の視察及びカパピーニャ州知事との懇談を実施。
- ロウレンソ大統領は7月30日から31日にギニア、8月1日から3日にガーナを訪問し、各国で首脳会談を実施。
- 8月18日、テテ・アントニオ外務大臣は、第41回SADC首脳会合にアンゴラ政府代表として出席。

【経済】

- ブラジル企業 Odebrecht は公開入札でバツハ・ド・ダンド海洋ターミナル建設事業を落札。
- アンゴラ企業 Kwattel 及び UNITEL は各社のモバイル決済サービスの提供を開始。
- 8月16日、Facebook は「2Africa」と共同で、同社の世界最大の海底ケーブルを、アンゴラを含む4拠点まで拡張する旨発表。
- アンゴラ企業 CSC 社 (Siderúrgica do Chuchi) は、鉄鉱石の中国への輸出を開始。

COVID-19

1. COVID-19 関連措置

- (1)8月6日、ルアンダ州の封鎖が9月6日まで延長された。また、アンゴラ人および外国人居住者の再入国やアンゴラで職務にあたる外国人の入国等を例外として、国境封鎖が維持された(8月6日付大統領令)。
- (2)8月31日、ルアンダ州の封鎖が9月1日0時から解除されることとなった(国境封鎖は維持)。また、コロナワクチン接種完了証明書所持者で空港到着後の検査で陰性結果の者は、7日間の自宅検疫が免除されることとなった(8月31日付大統領令)。

2. 感染状況

8月31日時点における国内の累計感染者数は47,544名(内、累計死亡者数1,217名、累計治癒者数43,421名)であった([AP 8/31](#))。

3. ワクチン関連

- (1)8月18日、保健省はワクチン接種デジタル証明書の導入に向けてEU、中国及びその他機関と共に取り組んでいる旨発表した(当館注:9月6日より、当国接種者のデジタル証明に関し、保健省HPで運用開始済)([AN 8/18](#))。
- (2)8月20日、保健省は既存のワクチン接種会場(ムトゥ・ヤ・ケヴェラ教員養成学校、シダデーラ・スポーツセンター、パズ・フロール観光総合施設)に追加する形で、ルアンダ州内に11か所の新たなワクチン接種会場を開

設した[\(AP 8/20\)](#)。

4. ジョンソン・エンド・ジョンソン製ワクチンの調達

8月8日、アンゴラにジョンソン・エンド・ジョンソン製ワクチン16.5万回分が到着した。AUが同加盟国のワクチン調達を支援するために設立したアフリカ・ワクチン入手トラストを通じアンゴラ政府が調達したものの[\(AP 8/8\)](#)。

5. ポルトガルによるアストラゼネカ製ワクチンの供与

ポルトガル政府は、ポルトガル語公用語アフリカ諸国(PALOP)及び東ティモールへのコロナ対策支援計画の一環でアンゴラにアストラゼネカ製ワクチンを複数回に分けて供与した(当館注:1回目のロットは7月15日に到着済)。

(1)2回目のロット:8月19日、アストラゼネカ製ワクチン13.5万回分が到着した[\(AP 8/20\)](#)。

(2)3回目のロット:8月25日、アストラゼネカ製ワクチン18.5万回分が発送された[\(JE 8/25\)](#)。

(3)4回目のロット:9月2日、アストラゼネカ製ワクチン20万回分が到着した。これにてアンゴラはポルトガルからアストラゼネカ製ワクチン合計57万回分を受領した[\(AN 9/2\)](#)。

6. 英国によるアストラゼネカ製ワクチンの供与

8月22日、COVAXファシリティを通じた英国政府によるアストラゼネカ製ワクチン12.8万回分が当地に到着した。英国は、COVAXファシリティを通じて、アストラゼネカ製ワクチンをアンゴラ、エジプト、エチオピア、ガーナ、ケニア、マラウイ、ナイジェリア、セネガル、ウガンダ、ザンビア、コンゴ(民)のアフリカ諸国に提供した[\(AP 8/22\)](#)。

7. セルビアによるスプートニクVワクチンの供与

8月20日、当地訪問中のニコラ・セラコビッチ／セルビア外務大臣は、ロウレンソ大統領表敬後の記者会見において、セルビアはアンゴラにスプートニクVワクチン5万回分を供与する旨発表した(当館注:9月18日に当地到着) [\(AP 8/20\)](#)。

8. 米国によるファイザー製ワクチンの供与

(1)8月24日、アンゴラ政府はCOVAXファシリティを通じた米国政府からの供与である58万6,170回分のファイザー製ワクチンを受領した[\(AP 8/24\)](#)。

(2)8月26日、米国政府は(COVAXファシリティを通じ)ファイザー製ワクチン59万6,700回分を供与した。同支援により、バイデン政権は約束した118万2,870回分のワクチン供与を完了した[\(AP 8/26\)](#)。

9. 米国CDCによるゲノム解析支援

8月20日、米国疾病予防管理センター(CDC)は、国立エイズ対策機構(INLS)に対し、COVID-19やHIVのゲノム配列の解析を可能にするゲノムシーケンスのプラットフォームを供与した[\(AP 8/20\)](#)。

内政

1. 2020年-2021年の国会会期の終了

8月13日、2020年-2021年の国会会期が終了した。フェルナンド・ディアス・ドス・サントス国会議長によれば、今国会会期中に22件の法令及び68件の決議が国会で可決された。同議長は、可決された法令のうち、ロウレンソ大統領のイニシアティブで提出された憲法改正案が最も注目されたものであったと述べた[\(JA 8/13\)](#)。

2. アンゴラ5州の行政区画再編

8月17日、アルメイダ大統領府文官長(行政区画再編委員会総括を兼任)は、地域住民の問題解決及び地域格差是正を目的とする地方行政改革を発表し、その第1フェーズとしてクアンド・クバンゴ州、モシコ州、ルンダ・ノルテ州、マランジェ州、ウイジェ州を対象とする新たな行政区画再編を実施する旨確約した。また、同文官長は公聴会を通じて行政が国民にとりより身近なものとなることが期待されると述べた他、面積が広い州においては、州政府関係者が地域住民のニーズや優先事項を把握するため住民と接することが困難な状況である旨指摘した[\(JA 8/18\)](#)。

3. 憲法裁判所による憲法改正案の承認

8月10日、憲法裁判所は6月に国会可決された憲法

改正案に関し、一部条項の再考を求めつつも承認した。同裁判所は、国会に対し、上級裁判所による大統領及び国会への報告書の提出を義務づける条項の見直しを求めた(当館注:8月13日、国会で同条項の削除が決定された後、官報で公布された)。その他、国会による行政権への監査、総選挙の期日、BNA(中銀)の独立行政機関化、裁判官の70歳定年退職制等が焦点となった([AP 8/11](#))。

4. 憲法裁判所長の交代

(1)8月12日、マヌエル・アラガオン憲法裁判所長が辞任を表明した。同憲法裁判所長は、憲法裁判所を最高裁判所の系列下とする憲法改正案(上記3)の条文は認めることはできず、同憲法改正案を棄却する意向を表明していた(当館注:8月13日付で公布された改正憲法では、懸案となっていた憲法改正案第181条の「最高裁判所を全ての裁判所の最上位の裁判所とする」との一文が削除された)([NJ 8/12](#))。

(2)8月19日、ラウリンダ・ジャシント・プラゼレス・モンテイロ・カルドーゾ与党 MPLA 政治局員(当館注:任命前に MPLA 離党)が新憲法裁判所長に任命された([NJ 8/19](#))。

5. 生殖補助医療関連法案の国会可決

8月10日、不妊治療に関する法整備を目的とする生殖補助医療関連法案が全会一致で可決された。アンゴラで不妊に悩む夫婦は約90万から100万存在する(WHO推定)一方で、海外でしか不妊治療を受けられないなど、不妊は深刻な問題となっている([AP 8/10](#))。

6. カトカ鉱山会社による河川汚染

(1)アンゴラ政府は、カトカ鉱山会社の尾鉱(選鉱くず)盆地にある排水システムの不具合により、汚染物質がルンダ・スル州のロヴァ川の約100キロメートルに流出している旨発表した。カトカ鉱山会社によると、本件は7月27日に鉱山洗浄用の貯水池の堤防に生じた亀裂により発生したものであり、ロヴァ川とその周辺地域の汚染を引き起こした([VA 8/5](#))。

(2)ディアマンティーノ・アゼベド鉱物資源・石油・ガス大臣は現場を視察し、カトカ鉱山会社は汚染被害を確認し

然るべく対応を行う旨述べ、同社に対して、コミュニティの被害状況を定期的にモニタリングし、常に鉱業法の法的及び環境に関する規範を遵守するよう求めた。また、同大臣は、サウリモ市に滞在中、ダイヤモンド生産地とカトカ鉱山の現場を訪れ、ルンダ・スル総合病院と州立産科病院に6台の車両を寄贈した([AP 8/10](#))。

7. 大統領のルンダ・ノルテ州訪問

8月26日、ロウレンソ大統領はルンダ・ノルテ州ドゥンド市を訪問し、州知事との会談や市民社会代表者らとの会合を実施した。州知事との会談において、ロウレンソ大統領は、ルアシモ水力発電所拡張事業の進捗状況に関する報告を受けた([AP 8/27](#))。

8. ルンダ・スル州ダイヤモンド開発地帯の開設

8月27日、ロウレンソ大統領はルンダ・スル州サウリモ市を訪問し、同市に位置するダイヤモンド開発地帯(PDDS)を開設した。同施設には3つの研磨工場が建設されており、一月当たりそれぞれ5,000カラット/月、508カラット/月、12,000カラット/月分の研磨が可能となる。PDDS全体の土地面積は約30万平方メートル、初期投資規模は約7,700万ドルである([JA 8/27](#))。

9. アンゴラ選手の東京パラリンピック出場

アンゴラから東京パラリンピックにマヌエル・ジャイメ選手(陸上男子1500m、T46(切断・運動機能))及びジュリアナ・モコ選手(陸上女子100m、200m、400m T11(視覚))が出場した([JA 8/28](#))。

外交

1. 丸橋大使による草の根・地雷除去事業現場の訪問

8月5日、丸橋日本国大使はクアンザ・スル州スンベ市を訪問し、カパピーニャ州知事との懇談において、「地雷除去や不発弾処理活動は、多くの人的・財政的後押しを必要とする、国家の社会経済的発展のための必要条件であり、日本政府はアンゴラ政府の地雷対策への取り組みを引き続き支援する。国民の幸福のために、経済活動の基盤となる地雷除去活動を積極的に展開

することが重要である。」と述べた[\(JA 8/6\)](#)。

意向がある旨述べた[\(VA 8/12\)](#)。

2. 北朝鮮「大使」の活動

8月6日、ピョン・ Chol 駐アンゴラ北朝鮮「大使」は、アゴスティーニョ・ネト元大統領霊廟を訪問し、同元大統領を追悼した。アゴスティーニョ・ネト元大統領が平壤を訪問し、1971年8月6日に金日成主席との会談が行われてから50年を迎えるにあたり、今回の追悼が行われた。同「大使」によれば、友好・協力二国間関係は、現在のロウレンソ大統領及び金正恩総書記のリーダーシップの下で良好に発展している。また、同「大使」は、北朝鮮は二国間関係を更に強化させる意向であり、二国間関係は強い絆に基づいて強化される歴史的かつ大きな財産の一つであると強調した[\(AP 8/6\)](#)。

3. ロウレンソ大統領のギニア訪問

7月30日から31日、ロウレンソ大統領はギニアを訪問し、アルファ・コンデ／ギニア大統領と首脳会合を実施した。両政府は、11月に首都コナクリで開催される予定のアンゴラ・ギニア合同委員会に向けた政治協議に関する MoU に署名した(当館注:9月以降、同国におけるクーデターの発生と同ギニア大統領の拘束によりギニア情勢が不安定化しているため、同委員会は実施されないことが推測される)。また、ロウレンソ大統領は、アンゴラ独立戦争時にアンゴラと共に闘ったギニア人の元兵士らと会合を行い、謝意を表明した[\(AP 7/31\)](#)。

4. ロウレンソ大統領のガーナ訪問

8月1日から3日、ロウレンソ大統領はガーナを訪問し、ナナ・アクフォ＝アド／ガーナ大統領と首脳会談を実施した。両政府は、農業、防衛、水産、職業訓練・教育、運輸、鉱業分野での協力強化に関する基本合意書(MoI)に署名を行った[\(AP 8/2\)](#)。

5. アルゼンチンによる衛星画像の提供

8月12日、アレハンドロ・ギリエルモ・ヴェルディエル当地アルゼンチン大使はロウレンソ大統領に信任状を捧呈した。同大使は、報道陣に対し、アルゼンチンはアンゴラの農業分野に貢献するために衛星画像を提供する

6. アンゴラの SADC 首脳会合等への出席

(1)8月18日、テテ・アントニオ外務大臣は、マラウイのリロングウェで開催された第41回 SADC 首脳会合にアンゴラ政府代表として出席した。同外務大臣は、アンゴラ国営ラジオに対し、SADC テロ対策本部(当館注:タンザニアに設置予定)の創設が承認された旨述べた。大臣によれば、同本部は、域内でテロの脅威に関する専門的かつ戦略的な顧問サービスを提供する見込み。

(2)8月16日、18日の SADC 首脳会合に先立ち、SADC 政治・防衛・安全保障機構トロイカ首脳会合が開催された。アンゴラからは、政府代表のテテ・アントニオ外務大臣の他、アイアエザ・ダ・シルヴァ財務副大臣(予算・公共投資担当)、レオナルド・イノセンシオ保健副大臣(病院担当)、ミゲル・ベンベ外務省アフリカ・中東・域内機関局長、ナザレ・サルヴァドール SADC アンゴラ委員会会長が出席した。現在、SADC はカーボ・デルガード州におけるテロ対策支援のためにモザンビークに待機部隊を配備している。右部隊の派遣は、6月に開催された SADC 臨時首脳会合での決定に基づくものであり、アンゴラからは、計20名の軍人がモザンビークに派遣されている[\(JA 8/16\)](#)。

7. セルビア外務大臣の当地訪問

8月20日、当地訪問中のニコラ・セラコビッチ／セルビア外務大臣はロウレンソ大統領と会談を行った。同外務大臣は、セルビアがアンゴラにスプートニク V ワクチン5万回分を供与する旨発表した他、アンゴラに対しセルビアで開催される非同盟運動60周年式典への参加働きかけを行った旨述べた。二国間の協力枠組みにおいてアンゴラとセルビアは、農業開発及びアンゴラ国軍の人材育成分野での協力強化を模索している。保健分野においては、セルビアはセルビア・ゴールド奨学金と呼ばれる医学分野のアンゴラ人学生30名分の奨学金制度を実施しているが、来年には枠を増やす予定[\(AP 8/20\)](#)。

8. 当地中国大使のロウレンソ大統領との面談

8月20日、ロウレンソ大統領は、ゴン・タオ当地中

国大使との面談にて、様々な分野における二国間協力に関する習近平国家主席からのメッセージを受領した。同大使はロウレンソ大統領との面談後、報道陣に対し、中国は引き続き、既存の協力関係を強化した上で、産業、農業、漁業、鉱物採掘分野における中国企業による対アンゴラ投資を促進する旨述べた。また、中国が本年 3 月にシノファーム製ワクチン 20 万回分を供与したことに関連し、「アンゴラが要すれば、中国政府はいつでも追加で中国製ワクチンを提供できる」旨併せて述べた [\(GOV 8/20\)](#)。

9. 中国からの医師団派遣の表明

8 月 23 日、ゴン・タオ当地中国大使は、(中国政府による) 開発協力・支援プログラムの一環で、アンゴラに再度医師団を派遣するための交渉を行っている旨発表した。また、同大使は、中国政府は既にアンゴラに医師団を 5 度派遣しており、5 度目の医師団 10 数名は 2019 年 9 月から現在に至るまでルアンダ州総合病院で勤務している旨述べた。(同プログラムの) 協定は 2 年ごとに更新されており、これまでにアンゴラで 70 名の中国人専門家が医療サービスを提供した [\(JA 8/23\)](#)。

10. 対中債務関連

8 月 23 日、ゴン・タオ当地中国大使は記者会見を開催し、COVID-19 のトレーサビリティに関する中国政府の立場や取組について説明を行った他、中国が DSSI の取り組みを重要視している旨強調した。同大使によれば、中国開発銀行(CBD)、中国工商銀行(ICBC)及び中国輸出入銀行(China Eximbank)は、アンゴラに対する債務返済猶予／繰延を実施するため、これまでも積極的に対応しており、中国輸出入銀行は新たな債務返済猶予に関する合意に向けてアンゴラ側と交渉を行っている最中である [\(EX 8/25\)](#)。

11. CPLP 事務局長のアンゴラ訪問

8 月 30 日、アンゴラを訪問中のザカリアス・アルバノ・ダ・コスタ／ポルトガル語圏諸国共同体(CPLP)事務局長は外務省でアントニオ外相等と会合を実施した。7 月の首脳会合時に提起された経済協力強化等を中心と

する意見交換が行われた [\(AP 8/30\)](#)。

12. トルコ企業家一行のルアンダ訪問

8 月 10 日、トルコ企業 Summa グループ及び BGN グループ関連の企業家一行がルアンダを訪問し、経済特区(ZEE)の視察等を行った。同企業家一行は、アンゴラで物流ターミナル、肥料工場、ホテル等の分野に投資する意向を表明した [\(JA 8/10\)](#)。

13. 農業水産省一行によるトルコ及びア首連訪問

(1) 8 月 30 日、農業水産省一行は、トルコからの農林水産分野への投資誘致を目的とする約 1 週間のトルコ訪問を完了した。ジョアン・マヌエル・バルトロメウ・ダ・クーニャ副大臣(農業・畜産業担当)を代表とする同一行には、同省局長 4 名の他、農業・畜産・林業分野の国営企業 GESTERRA 社及び MADANG 社の役員等が含まれていた [\(在トルコ/アンゴラ大使館 8/30\)](#)。

(2) 8 月 31 日、農業水産省一行は、アラブ首長国連邦からの投資誘致のためドバイを訪問した。トルコ訪問時と同様に農林水産分野への投資誘致が狙い [\(VA 8/31\)](#)。

14. ルアンダ・イスタンブール便開通の見通し

在アンゴラ／トルコ大使館は、本年 10 月 27 日にトルコ航空によるイスタンブール発ルアンダ行の直行便の運航(週 2 便)が開始される旨発表した。ルアンダ発イスタンブール行の運航は同月 28 日に開始する見込み [\(NJ 8/27\)](#)。

経済

1. クアンザ・ノルテ州における国家地質計画の成果

国家地質計画(Planageo)の調査を通じ、クアンザ・ノルテ州で 33 箇所の鉱化作用地点が発見された。鉄、金、ダイヤモンド、銅、コバルト、マンガン、ラテライト、レアアース等が発見される可能性がある [\(AP 8/6\)](#)。

2. バッハ・ド・ダンド海洋ターミナル建設事業の落札

ソナンゴルは、本年 1 月に開始されたバッハ・ド・ダンド海洋ターミナル建設事業の公開入札に関し、ブラジル企業 Odebrecht が落札した旨発表した。同事業は、

2014 年にイザベル・ドス・サントス氏(ドス・サントス前大統領長女)の保有企業 Altrantic Ventures が約 15 億ドルで受注したものの 2018 年に契約破棄となった上、2020 年に交渉段階にあったア首連のシェイク・アフメド・ダルムーク・アル・マクトゥーム氏とも話がまとまらず、公開入札が実施されていた([AN 8/10](#))。

3. 国営企業等落札企業による支払い不履行

8 月 26 日、国営企業等民営化推進機構(IGAPE)は、民営化プログラム(PROPRIV)を通じて売却された 41 件の政府保有資産の内、6 件が落札企業による支払い不履行の状態にある旨発表した。IGAPE は不履行状態にある落札企業側と交渉を行っている([VA 8/26](#))。

4. モバイル決済サービスの導入

(1)8 月 18 日、アンゴラ企業 Kwattel は、8 月末に同社のモバイル決済サービス(Akipaga)が開始される旨発表した。代理店を通して、あるいは、携帯電話上で登録することができ、携帯電話を使用した入出金、送金、決済が可能となる([EX 8/18](#))。

(2)8 月 23 日、UNITEL のモバイル決済サービス(Unitel Money)が開始された。銀行口座を所持しない者であっても携帯電話を使用した入出金、送金、決済が可能となる。第1フェーズにおいては、UNITEL 関連商品の決済のみを対象とする([AN 8/23](#))。

5. Facebook による海底ケーブルの拡張

8 月 16 日、Facebook は「2Africa」(MTN グローバルコネクト、WIOCC、チャイナ・モバイル・インターナショナル、オレンジ、サウジ・テレコム、テレコム・エジプト、ボーダフォンで構成されるコンソーシアム)と共同で、同社の世界最大の海底ケーブル事業にセーシェル、コモロ連合、アンゴラ、ナイジェリア南東部という4つの拠点を追加する旨発表した([RE 8/16](#))。

6. 特別引出権(SDR)の配当

IMF の特別引出権(SDR)に関し、アンゴラへの拠出分は約 10 億 700 万ドル(7 億 935 万 SDR)であった。(当館注:先 8 月 IMF 総務会はコロナ禍において加盟国の流動性及び準帯資産を増強することを目的に、約 6,500 億

ドルの新規配分を承認した)([EX 8/25](#))。

7. ロウレンソ大統領の繊維工場訪問

8 月 23 日、ロウレンソ大統領はルアンダ州カゼンガ市に位置する繊維工場(Textang II)を訪問した。大統領は、国内における綿花栽培の必要性を強調し、国内での綿花生産が実現された際には繊維工場が買い取る旨確約した([GOV 8/23](#))。

8. 中国への鉄鉱石の輸出開始

アンゴラ企業 CSC 社(Siderúrgica do Chuchi)は、8 月 9 日にクアンド・クバンゴ州のクタ鉱山で採掘された鉄鉱石の中国への輸出を開始する旨発表した。同社は、鉄鉱石の船舶への積み込み作業を安全に行えるよう、ナミベ州サコマール港のインフラ整備に大規模な投資を行った。クタ鉱山の埋蔵量は約 1 億 900 万トンであり、同社はこれまでに 9.5 万トンの鉄鉱石を採掘した。今後 35~50 年に亘り鉄鉱石の採掘が可能となる見込み([AN 8/4](#))。

9. 電気／水道メーター工場の操業開始

8 月 23 日、経済特区(ZEE)において、中国企業 Sunshine Group の電気／水道メーター工場の操業が開始された。生産規模は年間 40 万台であり、投資総額は 2,600 万ドル([VA 8/23](#))。

10. 対中国原油輸出量の減少

中国によるアフリカ諸国からの原油輸入量の減少により、7 月のアンゴラからの輸入量は同年前月比で 18.9% 減少した。S&P Global Platts の報告によれば、7 月に中国はアンゴラから約 290 万トンの原油を輸入しており、これにより、アンゴラは中国にとり第 6 位の原油輸入国となった。これまでのアンゴラの順位は、ロシアやサウジアラビアとともに第 3 位以内を占めていた([JA 8/30](#))。

11. 民営化プログラム(Propriv)紹介セミナーの開催

8 月 6 日、オンライン形式で中国企業向けに民営化プログラム(Propriv)を紹介するセミナーが開催され、中国企業の代表約 100 名、ヴェラ・ダヴェス財務大臣、ゴン・タオ当地中国大使が出席した。中国企業は、特に国営

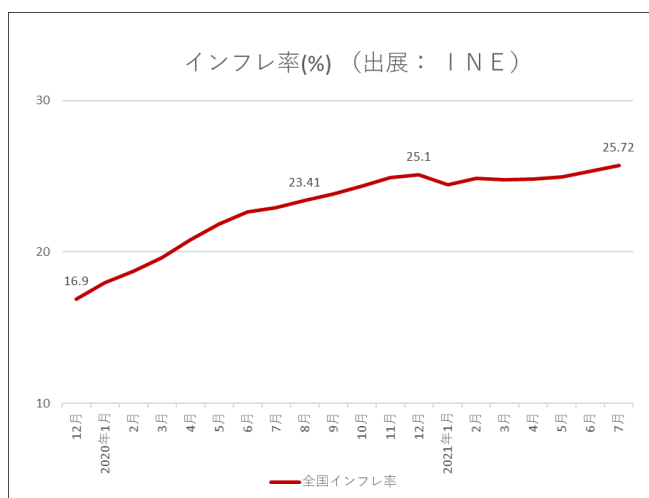
銀行 BCI 及び国営保険会社 ENSA の民営化に関心を示した(AN 8/6)。

【主要経済指標】

1. 物価

国家統計院(INE)が発表した7月のインフレ率は、全国平均で前月比2.10%、前年同月比25.72%。

最も物価上昇に影響を与えたのは、食料品・非アルコール飲料(1.53%)、衣類・靴(0.06%)、保健(0.06%)、家具、家財、メンテナンス(0.10%)、運輸(0.04%)、モノ・サービス(0.12%)。



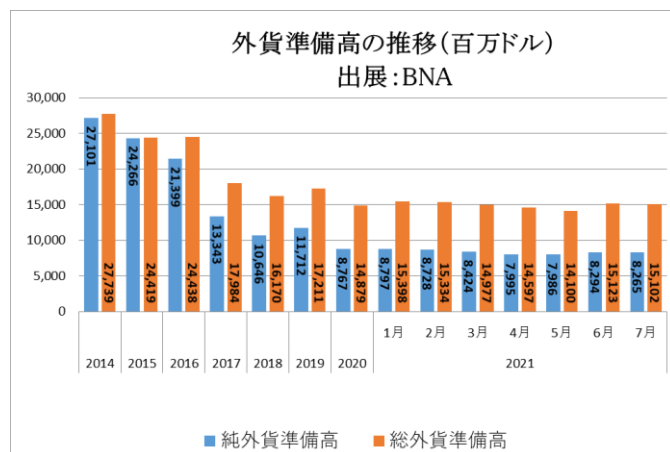
2. 金利

金融政策委員会(CPM)は開催されず。

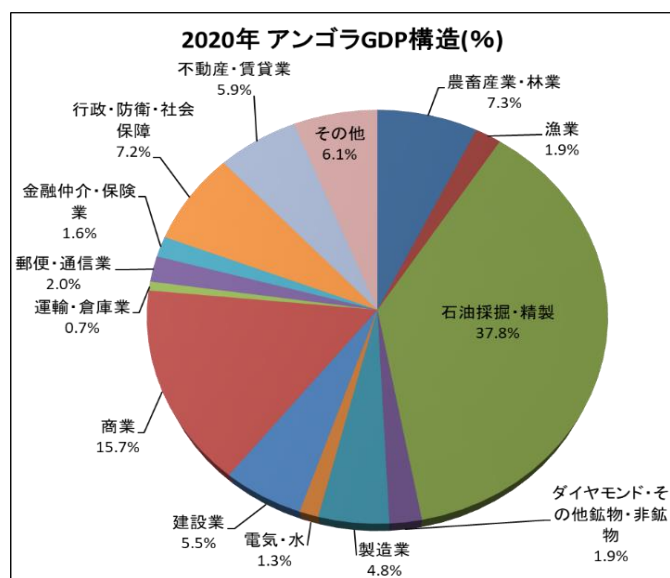
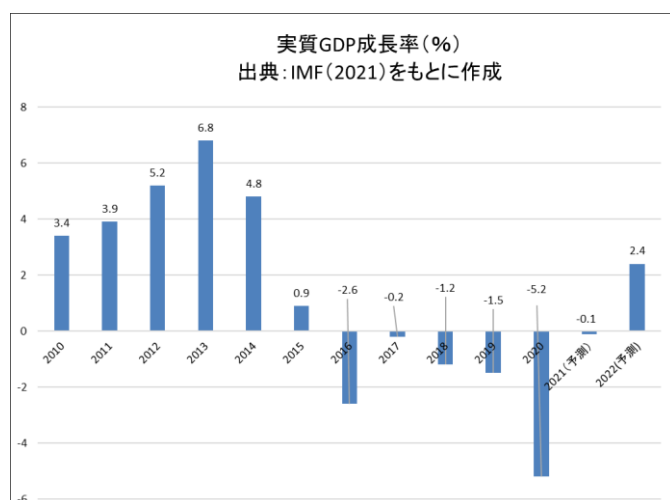
3. 為替市場

8月31日、為替相場は1USD=644.526AOAで推移。

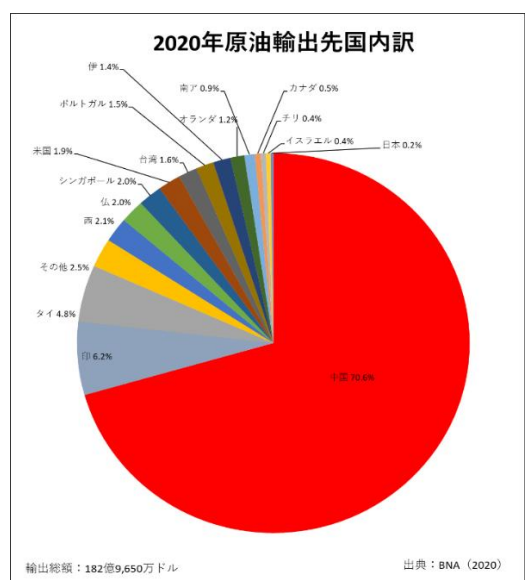
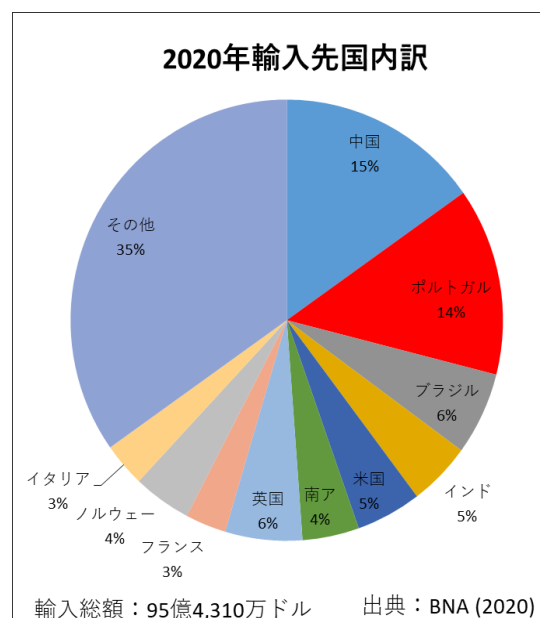
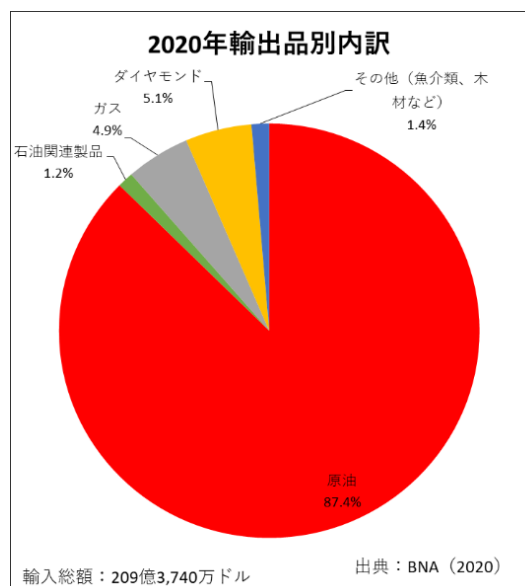
4. BNA 発表の外貨準備高統計



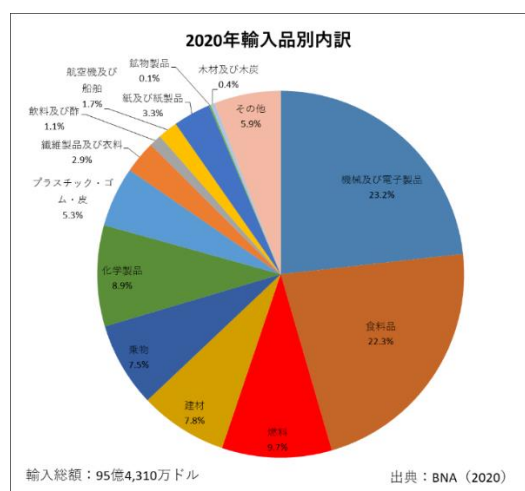
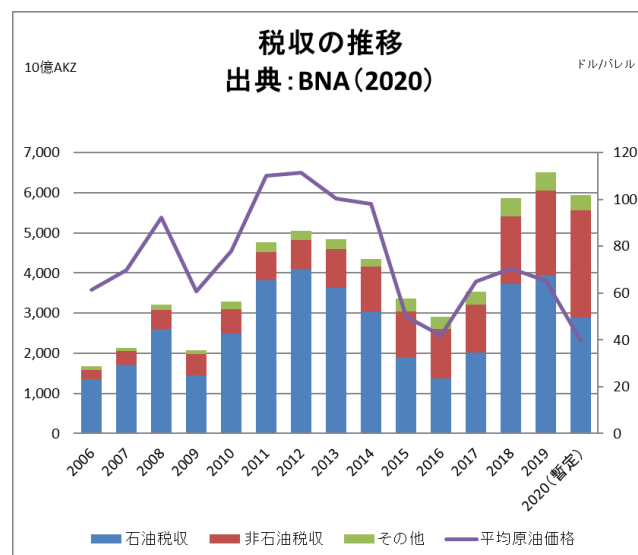
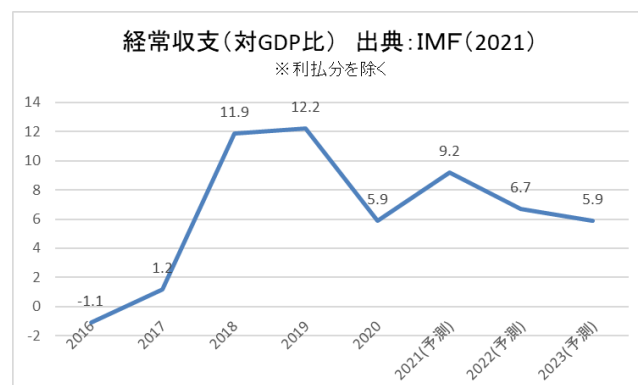
5. GDP及び成長率



6. 主要貿易統計



7. 財政主要統計



AA: All Africa、AC: アンゴラ華人報、AN:Ango Noticias、AO: Angola Online、A024:Angola 24 horas、AP: Angop、
BB: Bloomberg、CK: Club-K、CRK: Correio Kianda、DN: Diario de Noticias、DV: Dinheiro Vivo、DW: Deutsche

Welle, EG: E-Global, EIU: Economist Intelligence Unit, EN: Euro News, EX: Expansão, EXP: Expresso, FT: Financial Times, FM: Forum Macao, GOV: Government's Official Portal, JA: Jornal de Angola, JE: Jornal Economico, JN: Jornal de Negocios, LS: Lusa, ME: Mercado, MH:Macau Hub, MR: Mining Review, MW: Mining Weekly, NAM: Noticias ao Minuto, NJ: Novo Jornal, OBS: Observador, OP: O País, PA: Portal de Angola, PB: Publico, RE: Reuters, RFI: Radio France Internationale, TPA: Televisão Pública de Angola, VA: Ver Angola, VE: Valor Económico, VG: Vanguarda, VOA: Voice of America, WB: World Bank, WSJ: Wall Street Journal, XN: Xinhua Net